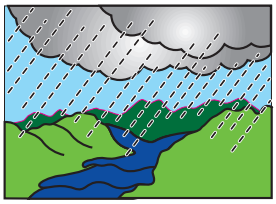
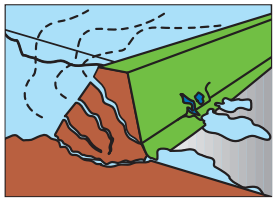
⑫洪水発生のメカニズム

外水氾濫（堤防や土手の決壊で起こる洪水）

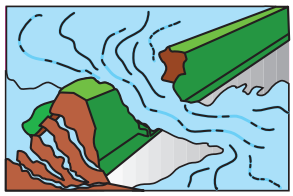
氾濫水は泥水のケースが多いので浸水箇所を避難する時にはさぐり棒などを活用しましょう。



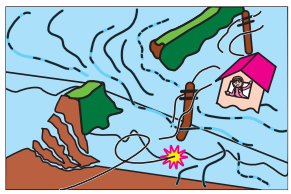
大雨や雪解けによって、川の水の量が増え、水かさが上がり始めます。



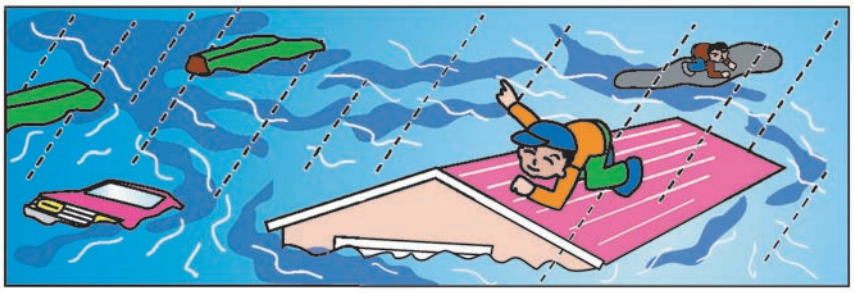
堤防いっぱいまで水が増えると、土でできた堤防に水の圧力がかかり始めます。



水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなると堤防の一部が崩れ始めます。



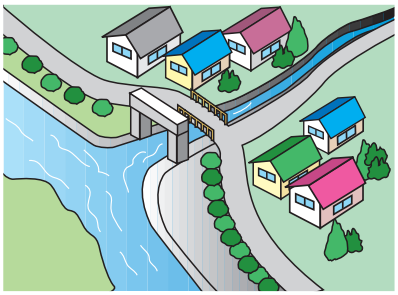
堤防の崩れた場所を通って、勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。



堤防から流れ出した水は、場所によっては家を破壊･流出したり、車を浮き上がらせたりしながら広がります。
水が浸水して来るとすぐ水かさが高くなり、歩行が困難になります。

内水氾濫（支流の水が本流へ排水できなくなって起こる洪水）

氾濫水は外水氾濫とは異なり、泥水ではない場合が多いです。

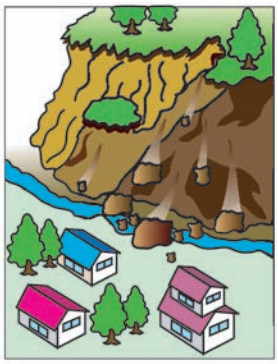


街などに降った雨は、谷や水路を通って川に排水されます。

大雨が降ると川の水位があがり、谷や水路の水が排水されずに溢れてしまいます。

⑬土砂災害の前兆現象

こんな前ぶれに注意!

市から避難勧告・指示が発令されますが、これらのような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。

- 立ち木の裂ける音や、川をゴロゴロと石が流れる音が聞こえる場合。
  - 要因　上流部で崩壊が始まっています。
  - 行動　高い土地に逃げましょう。
- 降雨が続いているにもかかわらず、渓流の水位が急激に減少し始めた場合。
  - 要因　崩壊により、水がせき止められています。
  - 行動　高い土地に逃げましょう。
- 斜面の途中から水が急に湧き出してきた場合。
  - 要因　土の中に含まれた水の水圧が上がり、崩壊の前兆。
  - 行動　直ちにその場所から離れましょう。
- 斜面からパラパラと小石が落ちてくる場合。
  - 要因　斜面が不安定になっています。
  - 行動　直ちにその場所から離れましょう。